

ヤマザクラ

2015 年（平成 27 年）7 月 20 日（月）発行

第 11 回通常総会開催

役員改選 理事長に木田章一さん就任

第 11 回通常総会は、2015（平成 27）年 6 月 21 日（日）午後 2 時 00 分から、いわき市林業研修センター湯ノ岳山荘で開催されました。

まず、NPO 法人いわきの森に親しむ会を代表して、松崎理事長より挨拶がありました。

挨拶の要旨として、「森林と市民を結ぶ全国の集い 2015 in 福島」に参加した感想として。

若い方々の参加とその行動力に勇気づけられたことや「ろうきん森の学校」の第 2 期が決まり、開校当時の心構えで再出発をしたい等々話された。

また、活動の基本は安全で楽しくなければならぬことを強調されました。

理事長挨拶後司会者（佐藤 烈）より本日の総会出席者について、正会員 117 名中、総会出席者 31 名、委任状 53 名、合計 84 名と報告されました。

よって、過半数 59 名を超え総会成立の報告がされました。



司会者佐藤烈さん

総会の議長には、鈴木正明さんが選出され、議事録著名人に若森秀樹・佐藤誠一さんが選任され議事にはいりました。



議長に選出され就任挨拶の鈴木正明さん

理事長より平成 26 年度事業及び平成 26 年度会計が詳細に報告されました。



議案の報告・提案する松崎理事長

引き続き、監事（猪村珠紀）より監査報告され慎重審議の結果、平成 26 年度事業は原案通り承認されました。



監査報告する監事の猪村さん

平成 26 年度議業報告の主な事項を記載します。

1.市民のもりづくり事業活動

(1)活動人員と安全対策

①活動人員は総計 2,951 名となり対前年度比 23%減となりました。この結果については、海岸林整備関係人員はほぼ昨年並みでしたが、国土緑化推進機構「森の教室」事業支援が終了した上、従来からの活動の参加人員が 14%減となったことによります。

②「安全第一に楽しく」をモットーに活動し無事故無災害で活動できました。

(2)湯ノ岳

①湯ノ岳フィールドの整備については、担い手不足の影響もあって、昨年比 30%減でした。

(3)21 世紀の森

①山火事跡地については従来通りの活動でした。

②プロ野球の森については、竹林の整備も含めほぼ当初予定した整備は目途をつけることができた。これからはソフト面の整備に着手することになります。

(4)岩出・好間

①従来通り冬水田んぼの作業と、カタクリ自生の広葉樹の抜き切り作業を実施しました。

(5)戸渡里山

①「とわだ遊学の森」フィールドの維持管理整備を行いました。

②ソバ畑は昨年の半分の植付しましたが雑草に負けて予想外の不作でした。残りは大根と菜の花を植付ました。

(6)いわき明星大学学校林

①自然体験プログラムのための演習林としての機能と維持管理のための整備を行いました。

(7)新舞子海岸林

①磐城森林管理所といわき林業青年会議所の協力を得て、海岸林再生のため「苗木 for いわき」プロジェクトに県外のボランティアを中心に多くの人達の参加を得て整備を行いました。

(8)今後の課題

①森林整備の担い手の確保策が急務となっているため、従来の活動に加えて土日の活動を増やすことを検討していきたい。

②海岸林再生整備にたいしては、いわき市内のボランティア参加者が殆どない状況が続いており、何らかの対策が求められています。



総 会 会 場 風 景

お知らせ	12
森林と市民を結ぶ全国の集い	11
自然観察会実施報告	10
東北労金平支店「友の会」	10
クリナップ労組	9
ファミリー緑の教室	9
自然体験活動	9
ろうきん森の学校	8
開催日 1平成27年5月17日	
2平成27年6月21日	
プログラム勉強会グループ活動	7
小学校における学習支援活動	
いわき市立三和中学校学習支援活動	
田植	7
農作業 2015 年夏の活動報告	6
木工クラフト班の活動	6
海岸林再生整備参加者数	
森整備班の活動	4
プロ野球の森整備	
理事長就任にあたって	4
役員改選	
木田章一	4
第十一回通常総会	1
目次 (主な内容)	P

2. 森との付き合い方の勉強、プログラム開発に係る事業活動

①参加人数

参加人数は会員 393 名で、対前年度比 33%減となりました。これは講師の指導を受けながらの研修会・勉強会が出来なかったことが主な原因でした。

3. 自然案内人の育成ならびにインタープリテーション事業活動

①自然案内人養成講座は、日本自然保護協会 時田先生（自然観察）によるものにとどまりました。

②自然観察会・自然体験活動は、対前年度比 15%増となりました。小学校などへの環境教育支援人員の増加に加えて、湯ノ岳山荘に於ける活動参加増によります。

4. 森林や林業に関する啓蒙事業活動

①従来通りうつくしま 21 森林づくりネットワークの地方推進組織として活動してまいりました。

5. 森に関する各種情報の受発信事業活動

①会報「ヤマザクラ」年 4 回の発行、紙面がカラー印刷となりました。

6. その他本会の目的達成に必要な事業活動

①指定管理者としていわき市林業研修センター 湯ノ岳山荘の管理運営を行いました。

7. その他

(1) ろうきん森の学校事業

ろうきん森の学校事業を開始してから満 10 年を経過、第 1 期を終了しました。今後も第 2 期として継続されることになりました。



審議中の鈴木議長と松崎理事長

次に、松崎理事長から平成 27 年度事業計画及び予算が詳細に説明されました

事業の実施方針は「安全第一に楽しく」をモットーに会の目的である「森に親しみながら持続可能な地域づくりに寄与する」ために取り組んでいくことを基本としております。

もう一つとして、ろうきん森の学校が 10 年を経過第 2 期とし再出発しますので、森の学校事業の充実強化について詳しく説明され、慎重審議の上平成 27 年度事業及び予算とも原案通り承認されました。

平成 27 年度事業内容は、ほぼ昨年同様の活動を実施することになりますが、平成 27 年度の特徴的な事業は。

本会の団体会員である NPO いわき環境研究室が進める自然エネルギー活用事業の支援があります。

また、多くの市民森と付き合うための事業の活発化や第 2 期ろうきん森の学校事業の充実強化等々があります。

平成 27 年度の課題として、森林整備の担い手の確保が急務となってきていることや年々業務量が増加しているため、事務局体制の整備等課題の解決が待っております。

引続き役員任期満了に伴う、役員改選について提案され原案通り承認されました。

役員については、菅野貞夫理事の退任に伴い佐藤 烈さんが理事に就任されました。それ以外の方々は留任となりました。

予定された議事は全部終了、第 11 回通常総会は無事終了しました。

役員改選後の新体制について

総会後の理事会において、松崎和敬理事長が退任し新副理事長に就任し木田章一副理事長が理事長に就任することが決定されました。

○新体制役員名簿

理事長 木田章一

副理事長 松崎和敬、池野上幸弘。

理事 金子喜弘、佐藤行年、野口 紘、
桑原敏和、佐藤幸二、佐藤 烈。

監事 伊藤貞夫、猪村珠紀。

理事長就任にあたって

木田章一



湯ノ岳山荘にて

このたびの通常総会で松崎前理事長の後任となりました木田です、どうぞよろしく願いいたします。

松崎前理事長には、いわきの森に親しむ会設立（2001年10月3日）NPO法人認証（2004年6月）から今日まで長きにわたり、当会の発展のためご尽力いただき厚く感謝申し上げますとともに、お疲れ様でした。今後は、当会の副理事長として引き続きの活動と助言をいただけるということですので、大変心強く思っております。

私は、機会があって本会が設立された当初からかかわっておりましたが、こんなにも大きな活動団体になるとは当初思っても見ませんでした。

今年3月定年を迎え、これまで平日だったため参加できなかった班活動に参加いたしました。月曜日の農業班、火曜日の木工クラフト班、水曜日の森林整備班、木曜日のプログラム班活動、そして総合的学習支援とどの活動も大変活発で、活動している皆さんがとても楽しく行っていることを強く感じましたが、中には、会員が少なく活動に支障をきたしている班もありました。今後は、安全第一をモットーに新会員が加入してくれるようPRしてまいります、会員の皆さんもどうぞ興味があれば参加してください。きっと楽しい時間を過ごせることと思います。

湯ノ岳山荘は建築後、約40年が経過し老朽化も進んでいることから、施設所管課である林務課との関係を密にし、この施設がますます使いやすくなるよう努めてまいりますので、会員の皆さんからの修理、改善等の希望があればお聞かせください。

労働金庫連合会50周年記念の社会貢献活動としてはじまった「ろうきん森の学校」に当会が指定され10年間支援していただいたことは、当会にとって大変ありがたく感謝しております。2015年からは第Ⅱ期としてさらに10年間支援をいただけることとなり改めて感謝いたします。

第Ⅱ期は、第Ⅰ期の「森づくり」に加えて、「人づくり・地域づくり」につなげる環境教育を発展させることを目的に事業が認められました。学校の総合的学習を支援することは、子どもたちが地域を愛し、自然を大切にしてくれるものご期待いたします。

今後、当会の活動をますます充実させてまいりますので、会員の皆さんのご支援、ご協力をお願いいたします。

森林整備班の活動（定例） 桑原敏和

活動期間 平成27年4月22日～7月8日迄の定例（毎週月曜日・第1、第3土曜日）活動を記載します。

○今回の定例整備班の計画は搬出された炭焼き材やストーブの燃料に加工（薪割）終える予定でしたが思うようには進捗しませんでした。

これは、定例整備日と山荘を利用した自然体験活動や海岸林再生整備等と重なりそれに対応したことによります。

ストーブの燃焼効率には燃料の乾燥がポイントです、なんとか早期に薪割を実施し乾燥させたいと思っております。

少し焦っています、ご協力お願い致します。

森林整備班の活動一覧表 (H27.04.22～07.4)

月//日	曜	実施事項	参加人数
4/22	水	炭焼材・ストーブ燃料材樹木の玉切り	4
5/2	水	玉切り材の搬出	4
5/13	水	ストーブ燃料の薪割作業	4
5/20	水	玉切り材の搬出	3
6/3	水	森林整備工具（チェーンソー）の整備	4
6/10	水	草刈（栗園跡地・山荘観察歩道）	5
6/17	水	安全特別教育準備・薪割材の搬出	6
6/20	土	フィールド管理道の草刈	1
6/24	水	玉切り材の搬出・薪割作業	5
7/4	水	森の工房・大倉庫整理・周辺草刈	5
活動 10日		森林整備班活動延人数	41人

プロ野球の森整備（看板の取り付け作業）

- 1.実施日 平成27年7月8日（水）（曇）
- 2.参加者 8名
- 3.実施内容：森への入口に「森で活動の注意事項」の看板を取り付け、中央の広場にはプロ野球の森についてと森と地球環境や森のチカラ等の看板4枚を設置しました。内容は解りやすい看板です是非ご覧ください。



看板取り付け作業

海岸線の再生整備参加者数

（期間 2015.4.4～2015.7.11）

月日	整備内容	本会 トチギ	ボラン ティア	計
4/4	地拵え・植樹	2	12	14
5/16	下刈り、地拵え、植樹	2	10	12
5/23	下刈り、地拵え、植樹	6	18	24
5/23	枯損木伐採	4	14	18
5/24	枯損木伐採	4	14	18
5/30	下刈り	9	39	48
5/30	グリーンウエーブ植樹	8	39	47
6/6	下刈り、地拵え、植樹	9	85	94
6/13	下刈り、地拵え、植樹	2	23	25
6/14	下刈り、地拵え、植樹	3	12	15
6/27	下刈り、地拵え、植樹	2	14	16
6/30	植樹	5	114	119
7/4	下刈り、植樹	2	10	12
7/11	下刈り、地拵え、植樹	4	20	24
計		62	424	486



6月30日（火）
岡山南高等学校のみなさん。
植樹を終えて

木工クラフト班の活動 桑原敏和

木工クラフト班活動一覧表（4月～7月）

Iグループ（定例日の活動）

No	月 / 日	曜	木工クラフト 実施事項	参加 人数
1	4/21	火	男性：引出箱（材はヒノキ） 女性：ティッシュボックス 仕上げ他	13
2	5/5	火	男性：引出箱（材はヒノキ） 女性：ミニまな板 （ホウノキ）	12
3	5/19	火	男性：引出箱寸法取 女性：コースター各種 ミニまな板	12
4	6/2	火	男性：引出箱（材はヒノキ） 女性：自然観察	12
5	6/16	火	男性：引出箱寸法取 女性：しゃもじ（竹製）	10
6	7/7	火	男性：引出箱 女性：ピザカットまな板	11
活動6日			参加延人数 70人	

○定例木工クラフト活動について、現在10名以上の参加者が安定的に推移しております。

今後いろいろなクラフトに挑戦したいと思っております。

毎月第2と第4火曜日に工房で実施しておりますので興味のある方は是非お出下さい。

○作品介绍



ヒノキ材の引出箱

II グループ（第3日曜ろうきん森の学校後に実施）

No	月/日	曜	木工クラフト 実施事項	参加 人数
1	5/17	日	寿司台（2回目）	4
2	6/21	日	鍵掛け アクセサリ掛け	4
活動2日			参加延人数 8人	

○工房にて



楽しく作品製作に熱中しております

農作業 2015 年夏の活動報告

農作業班 太田 満

1. 畑へ雨水を運搬（運搬日：5/9, 6/8, 6/22）

4月下旬から5月上旬にかけて、雨が降らず畑が乾燥しました。そのため、畑の貯水槽が空になったので山荘の雨水タンクから水を運搬しました。



合計 1,700ℓを運び水槽に貯水しました

2. カボチャ棚設置と苗の植え付け

昨年、イノシシの被害が大きかったカボチャ、その被害を避けるためカボチャ棚を設置して、苗を植え付けました。現在、順調に実が生っています。

3. 苗の植え付けと収穫

サツマイモ(6/15)、ジャガイモの収穫(6/29)
その他、収穫作業：ラッキョウ(5/25)、ソラマメ(6/1, 6/5)、タマネギ(6/8) など。

カボチャ棚



棚栽培は現在順調です



サツマイモ苗の植え付け（6/15）

4. その他

- 1) 5月以降、現在までイノシシの侵入による被害はない。猟友会による駆除の効果か？
- 2) 収穫したソラマメの一部を地主さん宅などに届けました。
- 3) 畑周りと農道の草刈り作業を行いました。

以上

田 植

日時 平成 27 年 5 月 24 日（日） 晴
場所 好間町中好間川原子作地内
（冬水田んぼ：約 500 m²）

品種 コシヒカリ

今年は水田への水の温度調整と生き物の退避場所の確保のため水路を長くし水口を変更しました。

田植参加者は岩出の郷の田植と同日となり 5名と静かな田植となりました。

水田は、今年もオタマジクシの生息が多く見られ水田は健全と思われます、美味しい米が期待できると思われます。



プログラム勉強会グループの活動

佐藤 烈

4月になると庭にはホトケノザ、ヒメオドリコソウ、シラン、ブルーベリー、ドウダンツツジそしてほかのツツジが咲き始めます。それとともにナス、キュウリ、ミニトマト、ゴーヤ等をプランターに植えその一方でずんずん伸びるドクダミなどの草引きが忙しくなります。今はアジサイ、ギボウシなど紫色が目立つ季節です。

草引きをしているうちに、ブルーベリーにぶら下がっているミノムシを見つけました。

いままではよく見たことがなかったのですが、今回はじっくり見てみました。すると蓑の先からちょっとだけ黒い頭を出して枝を移動し始め、幹を伝い別な枝に移り先端近くで止まると頭を蓑の中にひっこめ蓑の先端をすぼめました。

翌日は、蓑のそばの葉がかじられ、別な日には実をつけた先端を切り落とし、蓑には緑色をした細い枝が新たについていました。

本ではミノムシは食害するとありますが、1匹が食べる葉は数枚でたいしたことはない。これも観察して初めてわかることです。

1 小学校等における学習支援活動

(4/1～6/30)

月/日	学校名	学年	学習	参加者	支援者
4/21	錦東小	3	総合	25	5
5/7	平6	3	総合	39	8
5/28	中央台北	4	総合	70	10
6/9	江名小	3・4	森林環境	29	11

この四半期には上表のとおり4回の総合学習及び森林環境学習の支援を行いました。

これらは新年度に入り第1回目の総合学習・森林環境学習で、昨年度の支援内容を基に事前に学校と打ち合わせを行い、一部内容を変更し支援を行いました。

以下に中央台北小と江名小の支援について述べます。

中央台北小の支援では昨年度は学校に隣接する吉野谷公園をフィールドとして支援を行っていましたが、除染作業で地面が削られたこと、

それに昨年秋に一度出かけた明星大学の学校林での活動に児童が非常に喜びを感じていたこと等の理由で今年度は5回の支援活動すべて明星大の学校林をフィールドとすることとし、大学の了解も得ました。

しかしながら、学校から大学の学校林までの移動に時間がかかることから、支援内容の一部を割愛、変更することとなりました。

江名小学校の森林環境学習は昨年も3・4年生が春と秋の年2回湯ノ岳山荘に来て春と秋の森林の観察やかなづちやのこぎりを使ったクラフト体験を行いました。今回は雨が降ったことから森林の観察を中止し、代わりに屋内で急遽次のような雨天メニューを実施しました。

3年生

- ・花や葉を紙に擦り付け色を付ける。
- ・花や葉のにおいをかいでみる。
- ・カタバミを使った10円玉磨き
- ・クリの虫こぶ観察
- ・ホオの葉で風車作り

4年生

- ・葉の葉脈を和紙に写し取る。
- ・コウゾの皮をむいて紙を作る。

2 その他の活動 (1～3月)

(1) いわき明星大学の学校林の管理及び整備

4月：7、14、21、28、支援者延15名

5月：12、19、26、支援者延14名

6月：2、16、23、支援者延12名

(2) 筑波大学大学院生命環境科学科

インターンシップ実習の支援

4/25～26：湯ノ岳 1名 支援者1名

「森林自然体験活動」いわき市立三和中学校

1.実施 平成27年7月9日(水)曇

2.参加 1年生24名(引率教師2名)

3.体験内容

(1) 森の手入れ：4班編成で湯ノ岳山荘観察歩道周辺の広葉樹林の手入れを体験しました。

(2) 自然観察：里山の特徴である水田の跡やいわき市の木等を観察しました。

(3) 木工クラフト：リュールシロフォン・コースター作りを楽しみました。

○質問では、森林環境の問題や自然保護に関する事項・森林林業・森林環境問題に私達に出来る事などの質問がありました。

(資料を添えて説明した)

○三和中学校は森林林業等里山の環境の中にあり出来る事はたくさんある。彼らが将来の森林林業や環境問題の担い手を期待したい。

ろうきん森の学校

若森秀樹

(平成27年5月17日～6月21日)

I. 平成27年5月17日(日)(快晴)

1. 実施内容

- ①自然観察会。②森林療法体験。
- ③野外料理体験。

2. 参加者 29名

(今回も新しい顔ぶれの参加が多数ありました)

3. 実施結果

①自然観察会

参加者を三班に別れて観察コース(1)、(2)を観察しました。

ビオトープでは湿地に咲く植物の観察、セルフガイド版では里山の利用方法を勉強、ゼンマイの栄養葉を観察、食用のゼンマイとの違いを学びました。



セルフガイド板で里山の勉強

②森林療法体験

森の中で横たわり目を閉じ静かに森と対話することですが、たちまち眠くなる人、森の音を楽しむ人等々、自分の好みで森の中で過ごすし参加者はリラックスを体験しました。



林床に寝転び森林療法体験

③野外料理体験

自分の食べるものは自分で作る料理としてオヤキを楽しんで作りました。

II. 平成27年6月21日(日)(曇)

1. 実施内容

- ①自然観察会。②野外料理体験。
- ③木工クラフト

2. 参加者 43名(今回は西郷子供会等、お子さん連れ家族の参加が多数ありました)

3. 実施結果

①自然観察会：子供班と大人班に分かれて観察会を実施しました。先ずゲームで仲良しになり初夏のコースに出かけました。コースには花、昆虫、キノコ等、子供たちは初めて見るものが多く楽しい経験だったと思われました。



興味ある説明にひかれ真剣な眼差し

②野外料理体験：今回は南魚沼産コシヒカリの差し入れあり、白米のご飯・焼おにぎり。初夏の野菜・山菜の料理をご馳走になり満腹満足でした。



数多い山菜・野菜の美味しい料理、楽しい昼飯

③木工クラフト：木の枝ペンダントを主に作成しました。(発想の柔軟性には感心しました)



木の枝ペンダント作り

ファミリー緑の教室（30回目）

若森秀樹

主催：いわき市緑化推進委員会

この緑の教室は、家族で自然に親しみいわき市の豊かな緑を後世に引き継ぐ意識を高めるため開催されました。本会では、湯ノ岳山荘フィールドにて自然観察会の案内や木工クラフトの指導員を務めました。

また、参加者には鉢植えの草花が贈られました。

1.開催日 平成27年7月5日（日）（曇）

2.参加者 57名（18家族）

3.実施内容

①自然散策とネイチャーゲーム

7班に分かれて各班それぞれネイチャーゲームを含めて自然観察を実施しました。

子供は生き物が大好き羽化したオニヤンマ・アカハライモリ・羽化直後のアブラゼミ・ヤマトゴキブリ等発見観察し大喜びでした。

また、「目玉うち」で遊び自然に親しみました。

②野外料理体験

昼飯には石窯料理のピザ・焼芋・焼き野菜（ニンジン、タマネギ、ピーマン）を食べました。

石窯料理については時間の関係もあり参加者が焼き料理の体験は残念ながら出来ませんでした。



昼飯はピザや焼芋など石窯料理

③木工クラフトと七夕飾り作り

木の枝ペンダントや家族で短冊に願を書き込み笹に取り付、七夕飾りを作りました。



親子で七夕飾りを作りました

自然体験活動

I. 東北労金平支店 「友の会」

若森秀樹

1.実施 2015（H27）年05月20日（水）

2.場所 湯ノ岳山荘

3.参加者 14名

4.体験内容

①自然観察会と山菜採り。

二班に別れて観察コース（1）、（2）を観察と同時に野外料理用の山菜採取も兼ねて実施しました。フィールドは春たけなわの緑の里山の散策でした。



山菜の観察、意外と数多くの山菜に驚いていました

②外料理体験。

昼食には色々な山菜料理そして採取したセイタカアワダチソウの天ぷらも食卓に。意外と美味しく香も好評でした。



ピザのトッピングは慣れたもの数多くの具材を乗せられた。

③木工クラフト体験。

本日は家庭で役に立つ、コースターや実用的なものを作りました。



II. クリナップ労組

若森秀樹

- 1.実施日 平成 27 年 4 月 29 日 (水) (快晴)
- 2.場 所 湯ノ岳山荘と観察コース
- 3.参加者 42 名 (子供 17 名、大人 25 名)
- 4.体験内容

①自然散策 (花炭の材料採取をかねて)

ツツジ咲く新緑の観察コースに花炭の材料を採取しながら親子で楽しみました。

②花炭焼き体験

それぞれ花炭材を持ち帰った材を缶に入れ釜戸で焼き上げました。出来栄はマツボックリやモミジバフウの実は良く出来ました。生の花や葉はなかなか思ったようには焼き上がりませんでした。



③石窯料理

ピザは参加者がトッピングを楽しみ、焼く作業は本会員で行いました。昼食に頂きました。



④木工クラフト 親子で色々つくりました。



ナイフの使い方等真剣に教える父親

自然観察会実施報告

第 1 回 21 世紀の森自然冒険ゾーン

鈴木 信一

自然観察班では、一般募集自然観察会「緑の教室」を計画的に実施することになりました。

第 1 回を 5 月 10 日 (日)「市街地近くの初夏の里山を観察しよう」テーマに 21 世紀の森公園内の自然冒険ゾーンで実施しました。

私も大震災以来、久しぶりに歩きました。風はあったものの晴天に恵まれ、子ども 6 名を含む 24 名の参加者がありました。

森の中に入ると新緑の世界が広がり、私たちの目を潤してくれました。

3 班に分かれて散策、それぞれのグループリーダーの話に皆、熱心に耳を傾けておりました。

親子グループは、大人グループと別な角度からの観察会で喜びの大きな声が上がっておりました。



観察会前のスタッフ打合せ

花は少なかったもののヤマツツジが目立っていました。また、咲き始めのチゴユリの花に可愛いなと優しく触って見つめる人もおりました。

葉を観察するネイチャーゲームでは、一人一人が積極的に相手に問いかけながら悪戦苦闘する人も、でも結果は全員が正解、皆お互いに拍手を贈り歓喜に包まれました。

最後には、ふり返りをして終了、参加者全員が満足して笑顔で家路につきました。



第2回 沼ノ内弁財天

古川 眞智子

6月7日、今年度2回目の緑の教室が「沼の内弁財天」にて行われた。前日の雨もやみ、気温も歩くには最高の観察日和。参加者14名（内会員3名）スタッフ11名で3班に分かれ賢沼周辺を一巡した。上り口が急なため手作りのミズキの杖の提供は好評だった。



樹齢500年のスダジイを見上げる参加者

沼の内には樹齢500年といわれるスダジイがあり、山門には左甚五郎作の彫刻があるといわれ、「ネコだ、トラだ」とみんなで盛り上がった。残念ながら有名な大ウナギは見当たらなかった。震災の影響か水位が下がっている様に感じられた。沼の内特徴は常緑照葉樹林なのでもう少し早い時期だと落葉広葉樹林との差も見られたので次回行くときは時期を早めて開催したい。

リピーターの参加者も増えているので これからも楽しく続けて行きたいと思います。会員の皆さんも是非ご参加ください。



常緑照葉樹林の観察会

また、ふくしまデスティネーションキャンペーン応援の一環としての「磐城平城本丸跡地と丹後沢公園を巡る観察会」を4月12日、5月17日、6月20日の3回行った。20年ぶりの開門で初めて訪れる市民も多く好評だった。

森林と市民を結ぶ

全国の集い2015 in 福島

平成27年6月12日（金）～14日（日）の3日間、テーマを「東北復興に果たす森林の役割と市民活動」とし開催されました。

本会とフクシマ環境未来基地が今回の全国の集いの事務局を担当しました。

○開催趣旨

全国の集いは、都市に生活する一般市民が主体となった森づくり活動の輪をひろげることなどを旨とし、幅広い市民が集い交流する場として、1995年に発生した阪神淡路大震災直後に初めて東京で開催され、その後開催地が地方と東京とでほぼ毎年実施してきました。

今回の全国の集いでは、復興に向けて今も大きな困難に直面している福島の現実を学び、地域の発展に森林にどのような役割を果たすことができるのか、福島県の復興に向けて森林が出来る事私たちが出来ることは何かを全国の仲間と共に考える機会としました。

○活動概要

エクスカージョン（6/12午後～6/13午前）いわき地区、県南地区、相双地区、会津地区、の4つの地区に分かれてそれぞれおこなわれました。（いわき地区のみ報告します）いわき地区のテーマは「市民参加による里山再生と森林環境教育の取組み」としました。参加者は29名でした。

○内容

- ・津波被災海岸防災林の視察と植樹活動
- ・里山再生整備の現場の視察
（金成公園岩出の郷、プロ野球の森）
- ・湯ノ岳山荘周辺の森における
自然体験コース視察
- ・栗園跡地再生整備状況の視察
- ・本会の活動状況の報告と意見交換会



海岸防災林再生植樹する参加者

○全体会（6/13 午後～6/14 午前）

全グループがフォレストパークあだたらに集
合し全体会をおこないました。

各エクスカージョンでの振り返りと視察内
容、学んだことの整理を行った後に全体会でそ
れぞれの地区の状況についての報告が若者リポ
ーターから行なわれました。

6/14 午前、話題提供①、岩手大学山本先生から
「震災被害から考える森と人との関係の再構
築」と題して話をいただきました。この中では
森林と人が地域の中で具体的な関係性をもう一
度つく

りあげていくことの重要性について話されまし
た。

話題提供②福島県森林保全課鈴木課長から「福島
県の森林・林業・木材産業を取り巻く課題と対応」
と題して話をいただきました。

○アクションプラン作りと発表

エクスカージョン毎に分かれてこれまでの視
察、話題提供、話し合いを踏まえ「福島県の森
林の再生に向けて市民が出来ること」をテーマ
にアクションプラン作りを行い 4 地区から発表
が行われました。

以上の内容で 3 日間の日程を終えることがで
きました。



いわき地区のアクションプラン作り

今回の全国の集いにおいては実行委員会の話
し合いの中で、若者と一緒に活動を行うという
ことを一つの柱として盛り込みました。そこで、
エクスカージョンのレポーターとして大学生を
中心とした若者にその役を担ってもらいまし
た。その若者リポーターが事前の下見と学習を
踏まえて積極的に取り組み、アクションプラン
作りなどの話し合いの機会においてもまとめ役
となって活動してくれたことが良かったと思っ
ております。

それぞれのエクスカージョンにおいてまとめた
アクションプランについて、各地区において
さらに検討を加え、具体的行動に移しながら
PDCAサイクルをまわすことができ、はじ
めて今回の全国の集いが成功だったといえる
と思っております。

今回の集いに協力してくれた若者レポーター
との交流を図りながら、各地区において今回多
くの参加者とともにつくりあげたアクションプ
ランの実現に向けて前進したいとおもいます。

編集後記

先日湯ノ岳山荘へ運転中窓ガラスを開けたら
ヤブ蚊が飛び込んできました。

このヤブ蚊は名の通りヤブが好きで活動は昼
間です。私達は自然観察会等で昼間に森林に入
りますので注意すべき蚊です。

それでは、どうすれば蚊に刺されないか
「長袖長ズボンなら刺されにくい、これが基本
です」。しかし夏は暑い、薄着となり肌の露出部
分が出ます。そこが蚊の狙い所です。

どうするか、蚊取線香も対策のひとつ。

でも、蚊よけ剤を塗ることも効果的だと思わ
れます。

この夏、自分に合った蚊対策で森に入り楽し
く過ごして下さい。 (伊藤)

**お知らせ「夜の生き物観察会」の日程変更について、会報第 13 号に記載しました 8 月 9 日（日）は
8 月 8 日（土）に変更になりましたのでお知らせいたします。**

（発 行）NPO 法人いわきの森に親しむ会
（発行責任者）木田章一（編集担当者）伊藤貞夫
（事務局）〒972-8326 いわき市常磐藤原町湯ノ岳 2
湯ノ岳山荘内
TEL/FAX 0246-44-3273
E-mail:yunodake@gray.plala.or.jp
HP:http://iwaki-mori.Jimdo.com/